

人形浄瑠璃を体験しました！



【飛び入りでの人形遣い】



【太夫に合わせての“語り”】



【3人での人形遣い】

文化庁「文化芸術による子供の育成事業」の巡回公演として“淡路人形座”が来校しました。国語の古典の学習にもなり、日本の伝統文化の魅力を知る機会と捉えることもできました。

1年3組が代表クラスとなり、事前学習から当日のリハーサルを経て、公演（本番）の中での出演となりました。日頃体験の少ない（？）「正座」にも苦労しながら…事前の学習では何度も語りの練習をしました。本番では、正座で脚が痛くならないように…と、おしりの下に木製の補助具を入れたことにより、脚の痛みもほとんどなく語りに集中することができたようです。慣れない言い回しや、人形の扱い方に苦労しましたが、大変立派に活動することができました。人形座の人たちからも「大変すばらしい子どもたちですね」と褒めていただきました。3組以外の生徒は見学だけでしたが、3組生徒が精一杯取り組む姿を見ながら貴重な体験・鑑賞ができたのではないかと思います。